

# 香南市議会始動

組織が決定



四月二十七日に開かれた平成十八年第一回臨時議会で、正副議長選挙が行われ、議長に野崎昌男氏、副議長に信吉孝彦氏が選ばれました。併せて各常任委員会委員の選任も行われ、それぞれの委員が決まりました。また、議員選出監査員には山崎朗氏が選ばれました。

平成十八年第一回定期議会は六月五日から開会されます。市長の市政報告、各議案の提案理由の説明、各議員からの一般質問や十八年度予算などの議案審議を行います。

- 総務常任委員会**
- 長 志磨村公夫  
副 野島 利英  
山本 孝志  
中元 源一  
真辺 慶一  
安岡 宏  
山崎 朗  
中元 則夫  
西内 俊夫

- 産業建設常任委員会**
- 長 山本 茂夫  
副 野村 正夫  
西内 治水  
黒石 博章  
野本 光生  
信吉 孝彦  
中村 輝彦  
野崎 昌男

- 教育民生常任委員会**
- 長 竹村 暢文  
副 林 道夫  
森本 恵子  
岡崎 健  
安芸 紀雅  
山中 昭  
杉村 正毅  
齊藤 朋子  
猪原 陸

## 就任の「ごあいさつ」

香南市は、自然環境に恵まれた素晴らしいまちです。人口3万4千人、面積126平方キロメートルと大きく広く、町村から市になり議会の在り方も変わります。

議案の審議が本議会方式から委員会方式となり、それぞれの委員長を中心に、さらに詳しく専門的に審議することとなりました。

香南市議会には総務、産業建設、教育民生の3つの常任委員会があります。各常任委員会の機能をより充実させるため、市議会議員26人全員がお互いに切磋琢磨し、新たな情熱を持って取り組んでまいります。まさに今からの香南市を、市民の皆さまと共に考えその声をより良い形で市政に反映させ、そしてこのまちづくりに大事な一歩一歩をしるしていきましょう、一生懸命頑張ります。

皆さまに開かれた親しみやすい議会を目指しておりますので、ご協力とご参加をよろしくお願いします。



香南市初代議会議長  
野崎昌男  
（のざき まさひこ）

昭和21年11月11日  
野市町下井生まれ O型  
高知農業高校卒  
平成7年1月 旧野市町議会議員  
- 18年2月(17.1 - 18.2)同議会議長

議会は、どなたでも傍聴できます。傍聴席の入り口で受付簿に「住所・氏名」を記入してください。傍聴席からの出入りは自由ですが、拍手したりやじを飛ばすなど、会議の妨げになることは禁じられています。

### 旭日双光章 地方教育行政功勞



昭和27年に旧野市町教育委員に当選以来29年間、教育委員や教育委員長として教育行政に多大な功績をあげられました。

野口 勇さん  
87歳 野市町

昭和二十七年、初めて教育委員に当選したのは、戦後教育の混乱期でした。物資は乏しく、社会教育の場として「野市に公民館を」と議会で設置条例を可決させたものの建物はできず、公民館が落成した時は「本当にうれしかった」とのこと。

「教育は人」と優れた人材を登用させてきた野口さんは、野市の教育の立役者。「たくさんの方が今までの自分を支えてくれた。受章もそのおかげです」「家族にも感謝しちゅうけん」と野口さんは、手伝いにもならぬと野口さん。庭先の奥さんの姿に目を細めていました。

九年間の民生委員活動を終り、旧吉川村議会議員に初当選した昭和五十四年。「吉川は環境整備が遅れ、貧しい村でした。数々の活動の中でも、同和对策事業による地区の道路改修吉川漁港が完成した時は、感無量でした」と当時を振り返ります。

「家内にも苦勞をかけてきたが、家族なのであたりまえと強気で頑張ってきた」と北川さん。「今まで議員としての私を信頼し、支えてくれた方々へ感謝の気持ちは言い尽くせません」と話す姿に、地域を思い地域を見守るまなざしがありました。

### 旭日双光章 地方自治功勞

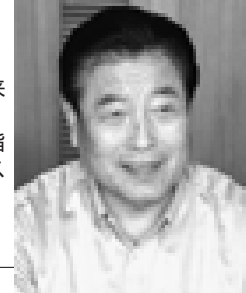


昭和43年から3期9年間旧吉川村民生委員・児童委員を務め、54年に旧吉川村議会議員に当選以来7期26年にわたり、議会議長、副議長として村政発展に貢献されました。

北川 納さん  
76歳 吉川町

## 春の叙勲 香南市で5人が受章されました

### 旭日双光章 地方自治功勞



昭和50年、旧野市町議会議員に当選以来7期28年間在職し、議会議長、副議長として、町政発展に貢献。また長年、野市町体育指導委員長、同体育協合理事長等として、スポーツ活動の普及振興に尽力されました。

岡田 勝さん  
70歳 野市町

「初当選した時は、最下位でうよやった」と三十一年前の岡田議員誕生秘話(?)を笑いながら話す岡田さん(実はトップ当選も果たしています)。

高校時代は、サッカーの国体選手。成人してからも少年サッカーの指導者として四国や全国大会に出場するなど活躍。まわりを明るく前向きにさせてくれる笑顔は今も変わりません。

今回の受章は、自分にとりより、まわりに向けてくれた先輩、仲間、後輩、家族に贈られたものです」と、数ある功績に苦勞話はなく、最後に「いつでも自分が一番楽しませてもらった」とスポーツマンらしい一言で締めくくられました。

山下さんからはお手紙をいただきました。

「平成十八年春の叙勲にさいし、旭日双光章拝受の栄に浴しました。去る五月九日、県知事橋本大二郎殿から勲記章の伝達を受けました。これもひとえに皆様の長年にわたる心温かいご指導ご支援の賜と深く感謝申し上げます。今後は、一層精励し、いささかなりとも、ご芳情に報いたいと存じますので何卒、変わらぬご交誼ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます」

この受章を、奥さまの墓前に一番に報告されたと言いう山下さんでした。

### 旭日双光章 地方自治功勞



昭和30年、旧赤岡町議会議員に当選以来、通算7期24年にわたり在職し、議会議長を務めました。また2期6年を助役として町政の発展に貢献されました。

山下政鶴さん  
84歳 赤岡町

### 瑞宝単光章 社会福祉功勞



昭和49年に旧香我美町民生委員・児童委員に推薦されて以来、福祉の向上、住民生活の安定に尽力。また同協議会の会長を務め、組織の活性化、委員の資質向上及び活動強化に貢献されています。

黒岩義久さん  
70歳 香我美町

三十八歳で民生委員・児童委員として推薦されて以来現役で活躍している黒岩さん。「推薦されたからには期待に応えたいという気持ちで、今まで続けて来た」とのこと。

これからは、時代に対応した地域福祉の中核となつて民生委員だけではできない地域のネットワークづくりに取り組んでいきたい、とますます意欲的。

「この受章は、一緒に活動してきた仲間や先輩の協力と、家族の理解のたまもの。恩返しの意味でもさらに頑張ります」と力強く新たな決意を語ってくれました。